

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人 口
7,767人
世帯数
3,210世帯
令和3年6月現在

二年連続 書面表決！

対面総会、今年も見送り



今年度の、五常校区コミュニティ協議会ならびに自主防災会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、昨年同様、書面表決の形式を取りました。

予算案、活動計画案などについては、議決権を有する各組織代表の方から、郵送にて承認をいただきました。

続く、自治会長・専門部会責任者合同研修会も、同じ理由で中止とし、説明・討議資料の配布をもつて代えました。

また、五常校区最大のイベントともいえる夏祭りも、飲食の提供が、きわめて難しい状況にあることから、断腸の思いで中止を決定しました。

今のところ、先行きの見通しはまったく立ちませんが、以降のイベントに関しては、実施を前提に準備を進める所存です。

◎ 五常文化祭(10月24日)

◎ とんど祭り(1月9日)

◎ 防災フェスティバル(2月27日)

ご協力、ご参加下さいますよう、よろしく願い申し上げます。



なお、今年は二年任期のコミュニティ協議会役員改選年に当たり、一部役員の交代がありました。

来年度末までは、下の体制で臨んでまいります。従前どおり、ご支援・ご鞭撻賜りますようお願いいたします。



【2021年度 予算】

【収入の部】

収入科目	予算金額
前年度繰越金	148,020
枚方市校区コミュニティ補助金	1,175,900
コミュニティ活動費	500,000
安全部門活動費	300,000
枚方市防犯協議会補助金	16,000
事業収入(夏祭り、とんど祭り等)	1,000,000
雑収入	5,000
合 計	3,144,920

【支出の部】

支出科目	予算金額
広報費	320,000
事務費、研修費他	185,000
安全部門活動費	110,000
備品費、修繕費他	170,000
事業費(夏祭り、とんど祭り等)	1,430,000
自主防災活動(自主防災会へ)	300,000
小地域ネットワーク活動(*)	500,000
特別積立金、予備費等	129,920
合 計	3,144,920

* 校区福祉委員会へ

【中止】

五常夏祭り



2021年度

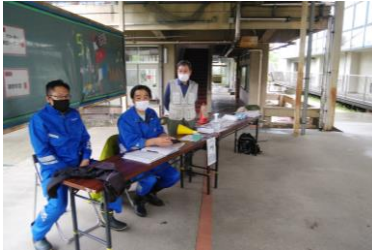
五常コミュニティ協議会役員

会長	上野 精順
副会長	光岡 和彦(行事担当)
倉 洋子(青少年部会)	宮路 美佐(福祉部会)
事務局長	岡田 満
書記	磯部 智子
会計	窪田 哲也
幹事	田中 章子
河上 勲	関谷 剛
平尾 守	尾上 敏幸
西岡 大輔	
会計監査	山内 佳与子 栗野 恵美子
顧問	大槻 哲也・元市議会議員
	野村 生代・前市議会議員
	神 正文・五常小学校校長
相談役	野々村 亘・前会長

校区だより 五常小に、避難所開設



5月21日(金)午前9時、五常小学校に避難所が開設されました。この日は前夜から激しい雨が降り続き、6時過ぎの時点で、大雨、洪水警報が発令されていました。



枚方市避難所派遣職員2名、ならびに自主防災会・上野会長以下4名が、18時まで現場に待機しましたが、時を追うにつれ雨の勢いが弱まったこともあり、避難者はゼロでした。ただし枚方市全域では、25の避難所です。一時は33名の避難者があったという事です。先日、全戸配布された「枚方市

防災マップ」(枚方市ホームページでも閲覧可能)には、市内のハザードマップが掲載されています。ご自宅を始めとする生活圏が、危険地域に指定されている場合は、「これまで大丈夫だったから」と、高をくくらず、念のため避難を心がけてください。余裕があればマスク、体温計、消毒薬などもお忘れなく。



受入態勢万全の体育館

昨年7月の熊本の土砂災害の際、避難所に逃れて命拾いされた方は、過去に何度か避難をくり返しながら、すべて空振りだったため、まさか本日に被害に遭うとは思わなかったと、話しておられました。自然災害に関する限り、前例や経験則は、ほとんど当てになりません。パソコンのバックアップ同様、徒労に思えても、万が一のまさかに備えることが大切です。

特定保健指導



先日、特定保健指導を受けるために、禁野本町にある保健センターへ行ってきました。特定保健指導とは、医療保険者(健保・国保組合など)が、40歳以上の加入者のうち、特定健診の結果、生活習慣病のリスクが高い人を対象に行うものです。



キビしく指導中

具体的には、**腹囲**：男性85cm、女性90cm以上、または、**BMI**：25以上、なおかつ、

◎ **高血圧**

◎ **高血糖**

◎ **脂質異常**(中性脂肪/コレステロール)のいずれかに該当すれば、「ピーツ」と笛が鳴るといわけです。

筆者の場合、右のすべてを満たし、加えて喫煙癖もあるので、レッドカード並みの、積極的支援を受けることに。

まずは、一週間の食生活をすべ

*BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

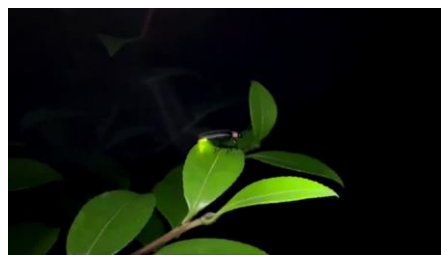


健康寿命を延ばすこと、つまり介護の手を借りずに、生きていく体

づくりです。現役世代の方は、時間を作るのが難しいでしょうが、お誘いがあれば、なんとか工面して参加してみてください。

て書き出します。これによって、自身の食生活の傾向(肉食偏向、間食過多等)が、分かります。次に、達成可能な目標を立て、毎日チェック表に成否を記入していきます。今回の目標は、
① 速歩30分
② スクワット20回
③ 野菜を食べる
なんです。②、③はともかく、①が難しく、すでにギブアップ状態。
でも、せつかくの機会なので、最後の面接指導まで頑張ろうと思います。なにより最終的な目標は、

とべとべホタル



五常小学

校の構内にある「ごじよトープ」では、今年もホタルが元気に飛び回っています。

初めて光が確認されたのは5

月26日。桜の開花や、梅雨入りが例年より早かったのに足並みを合わせるかのように、今年は1、2週間、前倒しでした。

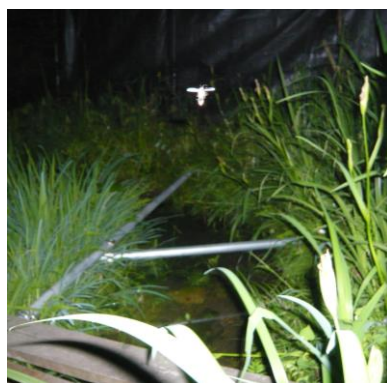
朝が来れば目が覚め(そうでない人もいますが)、お昼になればお腹が空くように、ホタルにも時分どきがあるようで、夜の8時20分を過ぎた頃から、あちら



脱走囚確保

こちらで、にわかに光が増し、活発に移動し始めます。ときには勢い余って、網の隙間から脱走することもある。

夜間の撮影は、けっこう難しく、フラッシュを焚くと、ホタル本体はしっかりと写りますが、お目当ての光の方が、台無しになってしまいます。でも時には左の写真のように、フラッシュの効用で、思わぬ場面が撮れることもあるんです。



飛翔の瞬間

昨年の今ごろは、一年もすれば、コロナ禍も収まるものと思いましたが、一向に出口が見えぬ中、今年も観賞会は催せそうにありません。「五常小をホタルの郷に」実行委員会の方たちも、しきりと残念がっておられました。せめて本紙上にて、じっくりご観賞ください。

煙突山さくらまつり



4月3日(土)、恒例の煙突山さくらまつりが開催されました。



曇り空でも、いい眺め

昨年は直前に中止が決定、告知記事の差し替えなどで、アタフタした覚えがあります。

それから一年、今年も薄氷を踏む思いでしたが、どうにか実施

できました。

今年

の桜は

開花が

早く、

当日ま

で残っ

ている



か案じられたものの、すべり込みセーフ。翌日が雨だっただけに、なおさらラッキーでした。



煙突山の歴史、解説中

カウンターによる入場者数は、合計376名。これは歴代のなかでも、おそらくトップクラスです。

「初めてなんですよ、すぐそばに住んでいるのに。」

そんな風におっしゃる方も、お一人だけではありませんでした。

コロナ禍で外出が思うに任せない中、身近な絶景スポットが、注目を集めているのでしょうか？

今後もし引き続き開催の予定ですので、

「見逃した！」

という方は、ぜひとも来年お越しください。



五常小通信

新任の二挨拶

五常小学校校長 榎 正文



え、全児童488名で賑やかにスタートしました。

令和3年度、本校は91名の新一年生を迎

入学式は、残念ながらご来賓である地域の方々は出席を控えていただきましたが、常日頃より広く本校の教育活動にご支援、ご協力を賜っており、心から厚く御礼を申し上げます。

私は大阪府の公募により枚方市で初めての民間出身校長として本年4月1日着任いたしました。この重責に身が引き締まる思いであります。

出身は九州の福岡で、昭和四十二年生まれの未年、53歳です。これまで、民間企業勤務の後、約8年間大阪市の区役所に勤めていました。

さて、本校には約60年もの間受け継がれた素晴らしい伝統と、温かい地域社会がございます。

一年生の給食指導では、地域の皆様のご支援をいただきました。おかげさまで5月には新入学の喧騒も鎮まり、学校は落ち着きを見せております。

一方で、万が一の休校があつた場合に備え、タブレット型端末(一人1台配布済)を使ったオンラインを活用した学習の準備をし、先日は家庭連携期間をリモートで行いました。

急速に変化する社会に臨む子どもたちへの教育について、学校は毎日ブログで詳しい情報を発信しております。(検索『五常小ブログ』)

皆様におかれましては、コミュニティ代表が参加される学校運営協議会を通じて、また直接私にでも結構です。ぜひお声をお聞かせください。

私も、皆様からの信頼を得るよう一丸となって努力するとともに、皆様と一体となって、素晴らしい学校にしていきたいと思っております。

どうか引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



祝 はたちのつどい

3月28日(日)、新成人を祝う「はたちのつどい」が、第四中学校の体育館で行われました。

当初は1月11日の成人の日に予定されながら、感染者急増により、延期されていたものです。

今回の式典も、出席できるのは当人と保護者、限られた来賓のみ。時間にすれば、わずか30分余りという、慌ただしさでした。



来賓祝辞も、駆け足で

あいにくの空模様で、体育館を出る頃には、ぽつぽつと降り出しましたが、旧友との再会を喜んで、記念撮影に興じたりする姿が、あちこちで見られました。

四中の卒業生には、中学三年生の時に書いた「はたちの私への手紙」が手渡されるサプライズも用意されていました。もしも中三の自分が書いた



かがやく二十歳の艶姿

なら、とてもまともな言葉は出て来そうにありません。ある新成人が受け取った手紙にも、某ジャニーズアイドルへの思いが、びつりと綴られていたそうです。

なお、今回の延期により、晴着などのキャンセル料を負担した場合、補助が受けられる制度があります。期限は、来年(令和4年)3月31日迄ですので、お心当たりのある方は、早めに「はたちのつどい」相談窓口(電話050-7105-8056)まで、お問合せください。

編集後記

コロナ禍の中でも、災害時には避難するのが原則。ただし自宅や知人宅が安全なら、そこも立派な避難所です。指定避難所へ行くことだけが避難ではありません。(広報委員会)